

## SEMINOR

## □国際理解教育基礎コース 連続セミナー

FAX情報サービス073#

このコースは参加型ワークショップによる国際理解教育のプログラムを幅広く体験していただくために開催しています。今年で3度目。ファシリテーターはエリックで研修を受け、現在様々な場で活躍していく方々です。ワークショップが初めての方、いろいろなプログラム、活動（アクティビティー）を体験してみたいかたに、ぜひおすすめします。

## 第1回 4/21（日） ワールド・スタディーズ

イギリスで20年以上研究・実践された国際理解教育プログラム「ワールド・スタディーズ」。幅広いテーマグローバルな視点を養います。参加型の豊富な活動が体験できます。

## 第2回 5/19（日） わたしから始まる国際理解

オーストラリアで開発された、人間形成のためのグループ活動教材「わたし、あなた、そしてみんな」を中心に、自己理解からコミュニケーション、協力とは何かを考えます。国際理解教育の基礎ともいえるテーマであり、あらゆる問題に向かう態度を養う必須の活動です。

## 第3回 6/29～30（土・日） グローバル・セミナー（下記参照）

## 第4回 7/21（日）PLT「木と学ぼう」

身近な「木」から総合的な環境問題を学ぶアメリカ森林協会が開発されたPLTは、アメリカで最も広く採用されている教育プログラムです。この回を受けた方にはPLTファシリテーター認定書を発行します。

場所：ERIC（北区東田端1-14-1）JR山手線田端駅北口3分

時間：各回 午前10時～午後5時

費用：全4回2万円（1回 7,000円）

お申込みは電話（03-3800-9416）、FAX（03-3800-9414）で。

参加費振込先：郵便振替口座00180-5-710144

加入者名：ERIC（通信欄に基礎コース参加費と明記のこと）

## □96年度グローバル・セミナーのご案内

FAX情報サービス073#

第8回をむかえたグローバル・セミナー。今回は「地球、世界のデータと意味をつなぐ」をテーマに統計やデータを活用したプログラムです。海外講師は米国で人口問題等の政策提言、啓蒙活動を行っているZPG（ゼロ・ポピュレーション・グロース）よりバメラ・バッサマン氏。ZPGが出版した教材「地球のみかた（Earth Matters）」を取り上げます。分科会では、様々な統計データを国際理解教育の生きた情報として活用できるよう素材・組み立て・応用を学んでいきます。詳しくはパンフレットをごらんください。

日時：96年6月29-30日

場所：東京YMCA国際奉仕センター 参加費：7,000円

ERIC

国際理解教育センター  
International Education  
Resource & Innovation Center

114 東京都北区東田端1-14-1 岩瀬ビル1F  
Iwase Bldg. 1F, 1-14-1 Higashi-tabata,  
Kita-ku, TOKYO 114 JAPAN  
代表案内電話 & FAX: 03-3800-9414

---

## □米国環境教育研修ツアー'96 参加者募集

昨年、PLT・WILD・WETの共同コーディネーター会議、及びFITに参加したのに引き続き、FIT (Forestry Institute for Teachers) の夏期セミナーへの参加を企画しています。米国では、環境教育への取り組みは、手法、カリキュラム作りの研究のみならず、推進の面でも活発であり目を見張るものがあります。そうした経験をアメリカで実体験するのがこの研修ツアーです。日本でも、環境教育への取り組みは広がりつつありますが、体系的なカリキュラムへの取り組みや活動の推進体制づくりという面ではまだ始まったばかりです。環境教育を担おうとする学生、教師、関係者にぜひご参加いただきたい内容です。

### FITのプログラムの特徴：

- ①自然資源管理 (Resource Management) に着眼し、社会的な視点を含めて、自然資源、多様性、生息動物の保護といったことについて学びます。
- ②環境教育カリキュラム作り、環境教育の専門家養成に主眼をおいています。(学校教育を担う教師が主たる対象です。FITで学んだことを生徒に対して実践できるようにトレーニングを受けるワークショップです)
- ③研修するプログラムは「村」でも「まち」でも適用できる内容・構成になっています。
- ④参加者とのネットワークを作る機会となります。

**目的：**環境教育への取り組みが活発なアメリカで、手法、カリキュラム作りの研究と推進活動などを実際に体験する。

**参加期間：**1996年8月18日～24日

**場所：**カリフォルニア大学 フォーレストリー・キャンプ (Plumas郡)

**募集対象：**教員志望学生、環境教育に取り組む教員、環境教育を推進しているファシリテーター

### 米国研修ツアーの構成 (日程など)

FIT参加：96年8月18日～24日

訪問など：8月24日より1週間以内オプションでカリフォルニアの環境教育施設や環境保護団体などの訪問を企画検討中です。

参加費用など詳細については、ERIC (担当:久保 電話03-3800-9416) までお問い合わせ下さい。

---

## WORKSHOP REPORT

### □M.E.E.T.ザ・ワールド カンボジア環境教育ボランティア活動実施中

2年目を迎えた環境教育交流プログラム。今年は16名のボランティアが派遣され、2月4日より3月31日までハイスクールで環境教育ワークショップを行う活動を続けています。実施場所は昨年に引き続きプレイベン州・プサートリアとラタナキリ州、プノンベン・教員研修センター。すでに帰国した参加者からの報告をお届けします。

▲ラタナキリに最初のボランティアとして派遣されました。活動が軌道に乗るまでは試行錯誤の毎日。受入の先生や生徒達にも負担だったと思います。でも、どんなときにも「ノープロブレム！」と対応していただきました。温かさが身にしみました。(林・ラタナキリ)

▲素直な好奇心に囲まれて2週間が過ぎた。村を散歩すれば、はにかみスマイルから「ハーイ、ティーチャー！」学校に行けば黒山の人ばかり。短い滞在だったが、自分の中に残ったもののかみしめるながら、彼らの中には何が残るのだろうか？東京に戻ってからそんなことを考え続けている。(北島・プレイベン)

▲現地では、生徒に教科書が配布されていなかった。学力向上にはコンクリート校舎の建設よりも、教科書・教材などソフト、特に教科書の無料配布に目を向けるべきではないだろうか。家の用事等で授業を欠席したり、教員の養成不足から不正確な板書も起こる。また、自分の弟や妹に教える場合もある。いずれの場合にも教科書があれば対応できることである。現状では、経済的余裕のある家庭の生徒のみがバイクで1時間かけて隣町まで参考書を買に行っている。

しかし、このような環境にあっても、生徒の学習意欲は高い。授業中、生徒の目は教師や黒板に集中している。「地球家族」の写真を使った授業では、見たことがない世界各国の生活用品について質問が相次いだ。大学受験を控えた生徒は車両用のバッテリーを電源にした蛍光灯1本とろうそくの火で深夜まで勉強を続けていた。

カンボジアでは昨年から大学入試に11科目に渡る共通テストが導入された。その結果、入試はますます激しい競争となっている。昨年までは数人の合格者がいたルビア高校も今年は1人。経済発展を進める国々での「個性より知識」の均質的な人材育成教育にたいして、同じ道を歩み経済成長を遂げた私たちから提案できる事とは、またその意味を考えさせられる体験であった。(金田・プレイベン)

プロジェクト終了後参加者による報告会も予定されています。また、本年度(99.2~)もボランティア派遣を計画しています。派遣には9月からのセミナーへの参加等条件があります。

お問い合わせはERIC事務局03-3800-9416(担当 田中)まで。

## BOOK & RESOURCE

### □資料室のご案内

ERIC資料室が広く、新しくなりました。今後より充実した資料と親しめるスペースにしたいと考えております。

みなさんにご利用いただける移動書架2連の開架資料は、英・米・カナダ・オーストラリア他英文の参加型教材が約1000点。他に日本語の百科事典、参考資料、関係団体資料などもご利用いただけるようになりました。新しい洋書教材も順次購入しています。閲覧用の机・椅子も用意しました。ここが、みなさんの新しいアイデアと出会う場所となればと願っています。参加型での教育を考える方々の研究にぜひお役立て下さい。

利用時間は火曜~金曜日の午後1時より6時まで。閲覧(入室)料は500円。ご利用の際には、電話予約が必要です。03-3800-9416(担当 馬場)までご連絡下さい。

### □新着資料ご案内

#### ▲What Have You Got to Lose? New World Tropical Rainforests

- A Teachers Guide to a Latin America Environment G.3-8

by Carol E. Murphy, SPICE

#### ▲Global Primer Skills for a ccChanging World G.K-8

by H. Thomas Collins / Fred Cazarra, Center for Teaching International Relations

#### ▲Passport to Understanding G.K-6

by Kaaren Gray, Center for Teaching International Relations

#### ▲Social Stratification in the United States

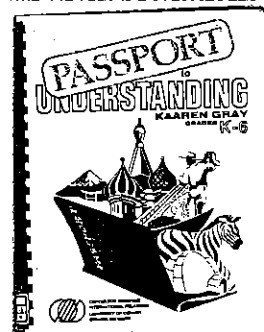
-the American Profile Poster Revised and Expanded

by Stephen J. Rose, The New Press / New York

#### ▲Geographic Perspective

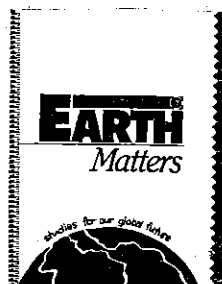
by Heidi Hursh / Ron Schukar / Barry Simmons,

Center for Teaching International Relations



## □新刊予定「地球のみかた (Earth Matters)」

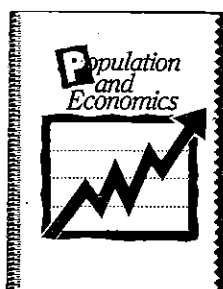
F A X 情報サービス 073 番



「私たちは、飢え、貧困、気候変動、公害や森林破壊といったためまぐるしく変わる世界のニュースにとりかこまれて暮らしています。現代はおびただしい数の課題を抱えています。それら環境問題、社会問題、経済問題の中心となっているのはとりもなおさず人間です。その人間とは、私たちZPGのメンバーであり、同時に活動の対象としている人々です。地球の生態系や社会構造を脅かしている脅威は、ほとんど人間が作りだしたものです。それは、限りある資源や脆弱な経済をますます圧迫し悪化させています。「地球のみかた (Earth Matters)」は、こうした事実が「人口増加や生活スタイル」や「人間の健康や地球の健康」と関連していることを、生徒たちが自ら発見していくための教材です。

この本は12の読みものと32の創造的なアクティビティを通じて、中・高等学校の生徒たちに地球環境と社会の問題を紹介しています。同時に、それらの問題をしっかりと検討し、解決方法を模索することを課題としています。

ここで網羅されている問題は学際的な研究分野ですが、それらの問題が様々なカリキュラムで取り上げられていくことを意図してつくられました。読み物やアクティビティは、中・高生が学校の社会、科学、数学、外国語や国語および生活科(総合科)で使えるよう、知識や技能の開発ができるよう、現在のカリキュラムに組み込みやすくなっています。」(前文・教師の方々へより)



「地球のみかた(Earth Matters)」6月下旬発行予定。

予定価格 2,575円(税込み) A4版200頁(予定)

## □「参加のファシリテーター」養成講座 受講希望者募集

これまでERICの研修を受けた経験があり、さらにファシリテーターとしての技能を磨きたいという方やテーマにそったプログラムを強化したい方のために、ファシリテーター養成のための夏期集中講座を5日間にわたって行います。プログラム内容も参加者の希望に則して作っていきます。

日程は8月5-9日(月-金)(参加者の希望により変更の可能性があります)

参加ご希望の方はお早めにERICまでお申し込みください。(電話03-3800-9416)

## □96年度会員の募集

ERICでは今年も研修会員、研究会員を募集しています。ERIC主催の全セミナーに無料で参加いただける研修会員。ワークショップはある程度経験したが、教材研究やテーマを継続的に学習・研究したいかた向けの研究委員。国際理解教育の担い手としての、ERICを経験・研修の場に、ぜひ御活用ください。

## □公園ガイドブック、近日出版

ERICが制作した「公園はエコファンタジーランド・ワクワク・ワークブック」。近日、大蔵省印刷局より発行の予定です。小学校中高学年むけの公園でできる楽しい環境教育のテキストです。続編としてこのワークブックの指導者用テキストも刊行予定されています。

## □アルバイト募集

ERIC事務局ではアルバイトを大募集中です。資料整理・パソコン(マック)入力、ファイリング、発送ほか事務局のアシスタント作業です。学生・一般を問いません。ERICに興味をお持ちの方大歓迎。お申し込み・お問い合わせは事務局、電話03-3800-9416まで。

**ERIC**  
国際理解教育センター

ERIC通信2号 年4回発行 御意見等はFAXでお寄せ下さい。

資料室閲覧予約電話: 03-3800-9416

講師派遣申し込み電話: 03-3800-9416

書籍申し込み専用郵便振替口座: 00160-3-547794

研修等参加費専用郵便振替口座: 00180-5-710744

いずれも加入者名: ERIC 通信欄に書名・セミナー名等明記のこと